

夏の夜やはらから想う日の多し
 西町 金澤 頼子

深みどり水面に写しめぐる五湖
 緑町 齋藤 嘉子

ニングルに逢うてみたしと露の道
 仲町 坂部 和子

流水という名の菓子で夏茶席
 元町 印牧 安子

夏めくやラベンダーの丘バスの旅
 元町 西崎 弘子

暮れ刻の香る芍薬風しづか
 屯田町 古屋 克江

主逝き庭の牡丹のうつむけり
 西原町 児玉久美子

噴水に心溶け合ふ笑顔の輪
 旭町 大河 茂

北国の宗谷岬は霧の中
 南校町 宮腰 幸子

小さくも生き甲斐ひとつ草むしる
 屯田町 伊藤 タカ

あじさいの藍から瑠璃に夕明かり
 仲町 徳井 隆男

小蜘蛛の巣良く出来たねと残しけり
 西岡町 渋谷みさ子

父と子の大の字並ぶ夏座敷
 旭町 宝澤 房子

文月や木陰静かに芭蕉の句
 仲町 梅基 敬子

海霧晴れぬ雲したがへて利尻富士
 藤本町 池田 良子

地下足袋の似合ふ少女の夏踊り
 元町 竹内スミエ

田舎道直売店に瓶の百合
 旭町 大河内清枝

せみ時雨山ゆるがせて開村日
 西町 岸波 君江

七夕の男女二人の影法師
 西町 小島アキ子

人生に夢あり老いてもはずむ春
 元町 鹿野登美子

アカシヤの花の香につつまれし
 藤本町 高井 孝子

被災地を訪うて郭公おくれしか
 東町 高草木喜代子

鶴鴿の雛の旅立ち見届けて
 西岡町 高瀬久美子

初もぎの胡瓜の青み目にしみて
 東町 高橋世津子

夕立の町を二つに分けにけり
 西町 文梨 清子

句作して苦作におわる水無月か
 西町 前橋 芳香

若者の好きな渋谷や炎ゆる夏
 仲町 芳賀 星子



メロウ

せなけいこ 再話・絵
 ポプラ社

「メロウ(モルーア)」はアイルランド語で『人魚』のことです。その特徴は、長い緑色の髪と歯、薔薇色の鼻に豚のような目、魚のような尻尾、鱗の生えた脚、ひれのような短い手…気持ち悪いであれ、『魂の籠』などと和訳されるアイルランド民話の絵本です。

information 絵本の館から



今月のおすすめ絵本

- 新着図書
- ・清貧を楽しむ。高橋聰典 著
 - ・都会と犬ども ガルバス・リヨサ 著
 - ・真夏の方程式 東野圭吾 著 ほか



なぞなぞおめでとう

石津ちひろ 絵
 スズキコージ 文
 偕成社

今にも絵本の中から飛び出してきそうな、「おめでとう」をテーマにした絵の中に、50問のなぞなぞの答えがちらばめられています。なぞなぞの問題がとってもシンプルなので、ダイナミックな絵とのギャップを楽しめます。でも、小さなお子さんは泣いてしまうかも知れません。